親子聖書日課

NO.1437　2016.4/10-16　　名前

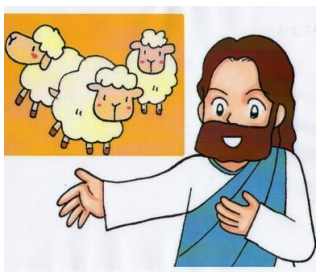
[日]主は何度も悔い改めを迫ったのに,民は聞こうとしなかったので,裁かれました。私達も「怒りの酒の杯」を飲むべきところでした。しかし,主ｲｴｽが代わりに飲んで下さったので,もうよろめき,恐怖にもだえることはありません。主に感謝！

[月]主の言葉は厳しすぎると思えても,一言も省かないで語ることです。ｴﾚﾐﾔは人を恐れないで勇気をもって語ったので,その真実が伝わり,殺されませんでした。聖書は命の書,どこからでも語るなら,主を信じる人が起こされるでしょう。

[火]ｴﾚﾐﾔはくびきと綱を首につけ,身をもって預言しました。それは罪の重さと苦しさを示す「無言の説教」でした。恥ずかしがっていては伝道できません。福音のためなら何でもしましょう。但し,マナーの悪い不快な恰好では困りますが‥

[水]偽預言者ﾊﾅﾝﾔは耳ざわりのよい言葉を語り,木のくびきを砕くという力を見せつけました。それに対して真の預言者ｴﾚﾐﾔは,あざ笑われました。しかし,主の言葉だけが実現するのです。人から嫌われても,御言葉だけを語りましょう。

[木]私達の人生が捕囚の民のように困難でも,主は最善の計画を用意されます。それは「平和の計画」であり,「将来と希望を与える」ものです。主は死の彼方に天国を用意し,霊の体に復活させて下さいます。神の計画に心を留めましょう。



[金]「命をかけて」神に近づかれたのは主ｲｴｽで,主は罪人を救うために命をかけました。それによって私達の罪は赦されました。今度は主のために,自分の命をかけて生きる人を,主は求めています。主のために,自分の生涯を献げましょう。

[土]人間の愛は変わり易いですが,神の愛は変わることはありません。民は神を捨て,偶像に走りましたが,その時も神は変わらず,民を愛し続けて下さいました。死ぬ日まで「とこしえの愛をもって」愛されていますから,その愛に生きましょう。

	聖　書	問　題	答　え
日	エレミヤ 25:15-38	主の手からどんな杯を取り,全ての国々に飲ませるべきですか。	
月	26:1-24	主の命じるこれらの言葉をどのぐらい語るべきですか。	
火	27:1-22	主はくびきの横木と綱を作って,何にはめよと言われましたか。	
水	28:1-17	その言葉がどうする時主が遣わした預言者だと分かりますか。	
木	29:1-32	それは何の計画であって,災いの計画ではありませんか。	
金	30:1-24	誰が何をかけて私に近づくであろうかと,主は言われましたか。	
土	31:1-22	私はどんな愛をもってあなたを愛すると,主は言われましたか。	
感想と祈りの課題			